

# 平成25年8月 全国百貨店売上高概況

平成25年9月20日

## I. 概況

1. 売上高総額	4,291億円余
2. 前年同月比	2.7% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	85社 242店 (平成25年7月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,237,339㎡ (前年同月比: -0.7%)
5. 総従業員数	81,799人 (前年同月比: -3.5%)
6. 3か月移動平均値	1-3月 1.5%、2-4月 1.3%、3-5月 2.1%、 4-6月 3.1%、5-7月 2.1%、6-8月 2.2%

[参考] 平成24年8月の売上高増減率は-1.0% (店舗数調整後)

### 【8月売上の特徴】

2か月ぶりにプラスとなった。また、月毎の特殊要因(セール会期変動・休日増減等)を調整した6～8月の3か月移動平均値は2.2%となり、夏季商戦通期で見ても総じて好調であった。

今年8月は、全国的に記録的な猛暑となったことから、この時期主力の夏物衣料(衣料品:+1.9%)を中心に、UVコスメ(化粧品:+3.5%)・涼感寝具・日傘・サングラスなどの盛夏商材が活発な動きを見せたほか、ラグジュアリーブランド(身のまわり品:+4.5%)や宝飾品・高級時計(美・宝・貴:+18.3%)など高額商材も増勢を維持した。更には住宅需要の活況を背景とした家具(+5.8%)の高い伸びや、土曜日の前年比1日増などもプラス要素に加わったことにより、前月の不振から一転しプラス基調を回復する結果となった。

その他当月の特徴的な動向としては、地区別分類で見ると増床・改装効果のある東京(+5.6%)・名古屋(+9.5%)・大阪(+7.8%)など大都市が商況全体を牽引したこと、商品別分類では6月以来2か月ぶりに主要5品目が全て前年比プラスとなったこと、年初から拡大基調が続く訪日外国人は、円安やビザ緩和等の政策効果を背景に、東南アジアの急伸に加えて台湾・香港・韓国なども好調を続けており、売上・客数共大幅に増加(売上:+87.2%/客数:+77.1%)したこと、などが報告されている。

### 【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「8月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇ 太平洋高気圧の勢力が南海上から西日本にかけて強かったため、気温は全国的に高く、東・西日本と沖縄・奄美ではかなり高かった。また、日本海側では湿った気流の影響を受けたため、局地的に非常に激しい雨が降った。

(2) 営業日数増減 30.6日(前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日( " +1日/土曜・1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数133店舗)

①増加した: 51店、②変化なし: 36店、③減少した: 46店

(5) 8月歳時記(旧暦お盆、夏休み、夏祭り)の売上(同上/有効回答数109店舗)

①増加した: 30店、②変化なし: 65店、③減少した: 14店

# 全国百貨店 売上高速報 2013年08月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全 国</b>	<b>429,101,329</b>	<b>100.0</b>	<b>2.7 ( 2.3)</b>
<b>10都市</b>	<b>285,903,699</b>	<b>66.6</b>	<b>4.6 ( 4.3)</b>
札幌	11,411,332	2.7	4.0
仙台	5,936,214	1.4	-0.2
東京	104,137,438	24.3	5.6 ( 4.6)
横浜	25,210,768	5.9	3.7
名古屋	26,496,964	6.2	9.5
京都	17,099,953	4.0	0.1
大阪	60,143,781	14.0	7.8
神戸	11,355,626	2.6	-3.8
広島	9,698,414	2.3	-6.0
福岡	14,413,209	3.4	0.8
<b>10都市以外の地区</b>	<b>143,197,630</b>	<b>33.4</b>	<b>-0.9 ( -1.4)</b>
北海道	2,415,879	0.6	0.9
東北	7,630,524	1.8	-0.3
関東	66,382,945	15.5	-0.5 ( -1.1)
中部	11,131,647	2.6	-1.6
近畿	15,325,188	3.6	0.3
中国	10,246,626	2.4	-0.5 ( -3.6)
四国	7,403,798	1.7	-0.8
九州	22,661,023	5.3	-3.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>429,101,329</b>	<b>100.0</b>	<b>2.7 ( 2.3)</b>
紳士服・洋品	22,009,007	5.1	4.5 ( 4.1)
婦人服・洋品	84,640,675	19.7	1.3 ( 0.9)
子供服・洋品	8,725,778	2.0	3.3 ( 3.0)
その他衣料品	11,119,875	2.6	0.6 ( 0.2)
<b>衣 料 品</b>	<b>126,495,335</b>	<b>29.5</b>	<b>1.9 ( 1.5)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>54,476,762</b>	<b>12.7</b>	<b>4.5 ( 4.3)</b>
化粧品	26,083,411	6.1	3.5 ( 3.1)
美術・宝飾・貴金属	22,805,728	5.3	18.3 ( 17.5)
その他雑貨	18,705,518	4.4	5.1 ( 4.9)
<b>雑 貨</b>	<b>67,594,657</b>	<b>15.8</b>	<b>8.5 ( 8.1)</b>
家 具	6,295,134	1.5	5.8 ( 4.6)
家 電	1,142,759	0.3	-9.9 ( -9.9)
その他家庭用品	14,647,586	3.4	0.9 ( 0.7)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>22,085,479</b>	<b>5.1</b>	<b>1.6 ( 1.2)</b>
生 鮮 食 品	27,144,211	6.3	0.7 ( 0.4)
菓 子	37,058,782	8.6	0.2 ( -0.2)
惣 菜	28,615,855	6.7	1.1 ( 0.8)
その他食料品	34,448,173	8.0	-1.2 ( -1.6)
<b>食 料 品</b>	<b>127,267,021</b>	<b>29.7</b>	<b>0.1 ( -0.2)</b>
食 堂 喫 茶	17,047,781	4.0	4.1 ( 3.4)
サ ー ビ ス	5,626,830	1.3	6.2 ( 6.1)
そ の 他	8,507,464	2.0	-3.9 ( -5.4)
<b>商 品 券</b>	<b>11,349,525</b>	<b>2.6</b>	<b>-9.1 ( -9.4)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向      | 4.6% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)   |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -0.9% (店舗数調整後/2か月連続マイナス) |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>4.6</b>	<b>3.0</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
札幌	4.0	0.1	2か月ぶりプラス
仙台	-0.2	0.0	2か月連続マイナス
東京	5.6	1.3	2か月ぶりプラス
横浜	3.7	0.2	2か月ぶりプラス
名古屋	9.5	0.6	2か月ぶりプラス
京都	0.1	0.0	2か月ぶりプラス
大阪	7.8	1.0	10か月連続プラス
神戸	-3.8	-0.1	2か月連続マイナス
広島	-6.0	-0.1	7か月連続マイナス
福岡	0.8	0.0	2か月ぶりプラス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>-0.9</b>	<b>-0.3</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
北海道	0.9	0.0	2か月ぶりプラス*
東北	-0.3	0.0	2か月連続マイナス*
関東	-0.5	-0.1	2か月連続マイナス
中部	-1.6	0.0	2か月連続マイナス
近畿	0.3	0.0	2か月ぶりプラス
中国	-0.5	0.0	2か月連続マイナス*
四国	-0.8	0.0	2か月連続マイナス
九州	-3.2	-0.2	2か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が10か月連続、衣料品、身のまわり品、家庭用品、食料品が2か月ぶりのプラスと、全品目が2か月ぶりにプラスとなった。また、美術・宝飾・貴金属が12か月連続、化粧品が6か月連続、その他雑貨、その他家庭用品が3か月連続、生鮮食品が17か月ぶり、紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服・洋品、その他衣料品、家具、菓子、惣菜が2か月ぶりのプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>2.7</b>	<b>—</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
紳士服・洋品	4.5	0.2	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	1.3	0.3	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	3.3	0.1	2か月ぶりプラス
その他衣料品	0.6	0.0	2か月ぶりプラス
<b>衣料品</b>	<b>1.9</b>	<b>0.6</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>4.5</b>	<b>0.6</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
化粧品	3.5	0.2	6か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	18.3	0.8	12か月連続プラス*
その他雑貨	5.1	0.2	3か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>8.5</b>	<b>1.3</b>	<b>10か月連続プラス</b>
家具	5.8	0.1	2か月ぶりプラス
家電	-9.9	0.0	2か月連続マイナス
その他家庭用品	0.9	0.0	3か月連続プラス
<b>家庭用品</b>	<b>1.6</b>	<b>0.1</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
生鮮食品	0.7	0.0	17か月ぶりプラス*
菓子	0.2	0.0	2か月ぶりプラス*
惣菜	1.1	0.1	2か月ぶりプラス*
その他食料品	-1.2	-0.1	2か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>4.1</b>	<b>0.2</b>	<b>10か月連続プラス</b>
<b>サービス</b>	<b>6.2</b>	<b>0.1</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
<b>その他</b>	<b>-3.9</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-9.1</b>	<b>-0.3</b>	<b>30か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>